

うるおいと活力のあるガーデンシティ

地域の個性と連携を目指して

平成17年度の主要施策は、田原市の将来都市像「うるおいと活力のある田園共生都市（ガーデンシティ）」の実現に向け、市民の皆さんが安心して暮らすことのできる個性豊かな地域づくりのため、一步一步着実に歩みを進める内容としました。ここでは、7つのテーマに分類した主な事業と予算額をご紹介します。

2005
→ 2006

主要事業

地域の個性を活用した基盤整備

生活の基礎となるインフラ整備のほか、中央公園の施設整備、赤羽根海岸整備の測量調査・実施計画の作成などを行います。

道路整備	5億3123万円
都市公園整備	11億3819万円
都市計画街路整備	2億172万円
赤羽根海岸整備	2億7889万円
緑ヶ丘住宅整備	5303万円
中心市街地商業等活性化	4858万円
庁舎増改築	6億7589万円



中心市街地の核となるセントファール

安全で安心できるまちづくり

防災対策を推進し、防犯対策員の増員など防犯対策にも力を入れます。子育て支援の開始など福祉施策の充実も図ります。

消防防災施設設備等整備	2億8342万円
防災情報通信施設設備等整備	5582万円
耐震化推進	1億775万円
地域防犯対策	1372万円
子育て支援	519万円
人にやさしい街づくり	3830万円
ぐるりんバス運行	4482万円



防災備蓄資材なども充実（写真は報民倉）

環境保全と地域循環の推進

環境と共生するまちづくりを目指す『たはらエコ・ガーデンシティ構想』を推進するほか、田原リサイクルセンターの稼働を開始します。5月には『たはら環境未来博』『第12回全国風サミット』を開催し、環境都市たはらを全国に発信します。

環境保全推進	1億2897万円
新リサイクルセンター運営等	12億5071万円
環境共生まちづくり	4億2502万円
夕川干潟自然トレイル整備	858万円
資源循環型・環境保全型農業支援	3034万円



『菜の花エコプロジェクト』も軌道に